

令和7年度 福井商業高校 部活動に係る活動方針

1 ねらい

- ・望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。
- ・集団や社会の一員として、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を養う。
- ・人間としての在り方・生き方について自覚を深め、自己を生かし集団に寄与する力を養う。

2 学校・生徒の実態

- ・創立118年目を迎える伝統校。5つの学科を持ち、全校生徒数は899名。「語学を含む商業教育」・「探究」と「部活動」を教育の柱とした「文武両道」を実践。毎年7～8割の生徒が4年制大学等に進学。
- ・運動部・文化部ともに多くの部活動がインターハイなどの全国大会に出場。
- ・明るく素直で何事にも前向きに捉える生徒が多く、今年度の部活動の加入率は95.8%。
- ・商業関係検定（全商検定など）や実用英語技能検定等に意欲的に取り組み、成果を残している。

3 設置部活動

(運動部)

硬式野球、男子バスケットボール、女子バスケットボール、サッカー、陸上、弓道、剣道
男子卓球、女子卓球、ソフトボール、女子バレーボール、女子ソフトテニス、男子テニス、
女子テニス、男子ハンドボール、女子ハンドボール、男子バドミントン、女子バドミントン

(文化部)

茶華道、演劇、吹奏楽、箏曲、簿記会計、書道、FFD、放送、ESS、JRC、珠算、美術
コンピュータ、FIC、ワープロ、チアリーダー、読書

4 活動計画・活動時間

- ・部活動活動時間については「学校部活動および新たな地域クラブ活動のあり方等に関する方針」に則り、原則、平日は2時間程度、休日は3時間程度とする。ただし、準備時間、後始末時間、校外活動場所への移動時間は除く。また、大会・練習試合・合宿等においてはこの限りではない。
- ・休養日についても「学校部活動および新たな地域クラブ活動のあり方等に関する方針」に則り、原則、平日は週1日、土曜・日曜のいずれか1日を部活動休止日とする。ただし、休日に行われる大会・練習試合・合宿等においてはこの限りでない（休日の部活動休止日については方針に従い、年間で調整する）
- ・生徒の自主練習・トレーニングは、生徒個人が自主的に行うものであり、部活動活動時間には含まない。
- ・活動計画については、各部活動が「年間計画」および「月間計画」を作成している。

5 保護者の願い

- ・積極的な部活動参加により、規則正しい生活習慣の確立と、部活動を通しての社会性や人間性の伸長を期待している。

6 体罰等の防止

- ・「職員会議」、「部活動顧問会議」「校内人権教育研修会」等を通して、すべての教職員に対して、体罰や不適切な指導（暴言等）に関する注意喚起を行う。

7 指導力向上

- ・各顧問が、高体連、高文連が主催する指導者研修会等に積極的に参加することで、より合理的・効率的・効果的な練習方法等を習得し、担当する部活動指導に活かす。

8 部活動指導員との連携

- ・部活動指導員等の適材配置により、効果的な部活動指導と顧問の負担軽減を目指す。

9 危機管理体制

- ・活動場所の定期的な安全対策を行うとともに、万一、部活動中に生徒の事故等が起こった場合には、本校「危機管理マニュアル非常事態（事故）の対処」に従い、速やかに対応する。活動では消毒・換気等の感染予防を徹底し、日々の健康チェックを行う。
- ・AEDを体育館およびグラウンド建屋に設置するとともに、生徒・教職員向けのAED研修会を実施する。

10 部活動における感染症対策

- ・感染拡大への警戒を怠らず、衛生管理マニュアル等に基づき、活動場所の換気を徹底するなど、感染の状況に応じた感染症対策を行う。
う。

11 部活動における熱中症対策

- ・活動場所の環境条件を把握し、状況に応じて活動の制限や運動量の調整などを行い、衛生管理マニュアル等に基づいた予防策を講じる。また、熱中症発生時の対応も、各部員に向けての応急手当講習会等を行うなどして、適切な対応への共通認識を図る。

12 業務改善に向けた取り組み

- ・毎月の活動計画や活動実績の確認等により活動内容を把握し、教職員の負担が過度とならないような、持続可能な運営体制が整えられているか等について指導、是正を行う。